

# 秋のコスチュームウィーク!

お盆明けから早速ハロウィーンの飾りがあちらこちらで見られるようになりました。日本でもいつの間にか大きなイベントになりましたね。

今年も季節のイベント「コスチュームウィーク」を開催いたします。好きな衣装をつけて通常クラスにご参加ください。

授業では、ハロウィンにまつわる英語を楽しみながらゲームを交えて学習します。衣装をつけるだけで、なぜかテンションアップ。コロナのせいで、学校や地域の楽しい行事が中止になってしまいましたが、「非日常」を生活に取り入れると、脳や身体の活性化となるし、「いつもと違う自分」を体験する事で、新しい発見ができるかもしれません。

保護者の方も忙しい毎日をお過ごしかとは思いますが、どうかお子さんとちょっとした「非日常」を一緒に楽しんでみてください。

## ★開催日★

**10月27日(火)～10月31日(土)**

※スーパードラークラスは簡単な「Trick or Treat」をする予定です。



## ハロウィン トリビア

仮面の着用は、仮装のためではない?!

ハロウィンの原型となる祭りを 행っていた古代ケルトの人々は、この世とあの世の境界が取り払われるとき、この世に戻ってきた死霊に悪さをされることを恐れていました。だから、日没後に外出する際には、死霊から自分の素性を隠し、仲間(=死霊)であると勘違いさせるために、仮面をつけるようにしていたのです。

現代の人々が、キャラクターや有名人になりきって目立つために凝った仮装をするのとは大変な違いですね。」

# 新着情報・お知らせ

●《重要》翌月からの各種変更(休会・退会など)の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●南ウッディタウン駅前校の建物前のスペースは**駐車禁止**です。お車で送迎の場合は、エルムプラザの駐車場をご利用下さい。

●幼稚園クラス、キッズ①を受講されている生徒さんの保護者様へお願いです。授業終了後、お子さんが一人で教室から出るのは大変危険です。小学1年生以下の生徒さんは、お迎えの方の確認後に引き渡しとさせていただきます。教室外で発生した事故や怪我等については当教室では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

●10月27日(火)～10月31日(土)は恒例のコスチューム(ハロウィン)ウィークです。好きなコスチュームを着て通常クラスにご参加ください。

●多読アプリ有料貸し出し受付中:  
①多読アプリ+フォニックスアプリ 600円/月  
②多読アプリ 400円/月

●ホームワーク等は引き続きGoogleカレンダーで掲載しております。ホームページの【会員限定ページ】でご確認ください。パスワードは \_\_\_\_\_ です。

●《10月～11月の振替日》12月以降は振替ページをご参照下さい。振替の予約をキャンセルする場合は、確認メールよりお手続きください。

スーパーキッズ	10月10日(土) 11月21日(土)
キッズ①&①+	10月17日(土) 11月28日(土)
キッズ②&②+	10月13日(火) 11月17日(火)
キッズ③&③+&キッズ④	10月27日(火) 11月24日(火)
キッズ④+/中学生	10月10日(土) 11月7日(火)

## ARK ACADEMY



フェイスブック



インスタグラム



ホームページ

〒669-1323 三田市あかしあ台4-8-1

Tel / Fax : 079-563-3132

アークアカデミー英会話教室

# アークアカデミー通信

News Letter Oct 2020



## ★CONTENTS★

- はじめに ■10月のスクールカレンダー
- 活用しましょう! フレーズ&ワードリスト
- 新着情報・お知らせ ■今月の誕生日
- 英語学習の動機づけ
- 秋のコスチュームウィーク

## はじめに

「Thank you for being who you are.」  
(あなたがあなたでいてくれて本当にありがとう)

冒頭の言葉は、カナダ在住中に私が勤めていた職場で毎日のように浴びせられた言葉です。成績や生産性、効率性や容姿等が評価の基準であった日本から来た私にとって、なんとも不思議な響きのある言葉でした。価値観がdoing(何かをする事)からbeing(存在する事)へと大逆転していった経験でした。

日本が少し窮屈だな～と思っていた理由の一つが、相対的な価値観の中で生きていかなければならないと無意識に感じていたためだと思います。相対的な価値観とは、誰かとの比較の中で自分の価値を見出す行為ですが、常に他人と比較していると、不安と不満しか生まれてこないものです。

でもカナダで毎日のように冒頭の言葉を浴びせられる事によって、相対的な価値観から絶対的な価値観の世界へ足を踏み入れるようになりました。絶対的な価値観とは、外的要因が自分の価値を決定するのではなく、存在自体に価値があるという事です。自分がどんな状態にあっても、価値ある存在として受け入れられているという事実は、心に自由と平安をもたらしてくれました。

先月、「日本の子供は幸福度・自己肯定度が先進国の中で最低基準」というニュースをききましたが、「あなたの存在自体に価値があり、無条件で愛されている」というメッセージを実感する機会がありませんのではないかなとも思ったりします。

アークアカデミーのアークは、旧約聖書の「ノアの箱舟」を意味しますが、1人1人が価値ある存在だと実感できるような安全な空間を、これからも創り出していけるよう努力したいと思っています。

## 英語学習の動機づけ

皆さんはエスニックジョークをご存知ですか？

エスニックジョークとは、ある民族の民族性、もしくはある国の国民性を端的にあらわすような話によって笑いを誘うジョークのことです。国民性や民族性を大げさに皮肉るということで、笑うに笑えない時もありますが、自分の意志で選択して行動していると思っていたことが、実は文化によって支配されている場合が多いという事にも気づかれます。

このエスニックジョークに沈没船ジョークと言うものがあります。

豪華客船が沈没して、多国籍の人々が、救命ボートに乗りました。しかし定員オーバーで、男の人たちに降りてもらわないと沈んでしまいます。そこで、人々はアメリカ人に対しては、「あなたはここでヒーローになれる」と言いました。アメリカ人は、ガッツポーズをして海に飛び込みました。次にイギリス人に対して「あなたは紳士だ」と言いました。イギリス人は、うなずいて海に飛び込みました。ドイツ人に対しては「あなたは、飛び込まなくてはならない、それがルールだ」と言いました。ドイツ人は納得して海に飛び込みました。日本人に対しては「あなた、飛び込まなくていいんですか？ほかの男の人は、みんな飛び込みましたよ」と言われました。すると日本人は、左右を見渡すと慌てて海に飛び込みました。中国人に対しては「海に美味しそうな魚がいっぱい泳いでますよ」と言いました。中国人は、上着を脱いで網代わりにして海に飛び込みました。韓国人に対して言おうとした時、ある一人がそれを止めました。「何故止めるのですか？」「やめておけ、後で服が濡れたと謝罪と賠償を要求される」

これが世界的に日本の国民性として認知されているというのは、若干皮肉なことではありますが、コロナ関連の現象で、この国民性は顕著に表れてきているなど感じています。法治国家ではなく村社会？と感じてしまう事もしばしば（泣）。

それはさておき、この「みんながしている」というメッセージが、明らかに私達日本人の行動を促す原動力になるのだったら、「グローバル社会で活躍できるわよ〜」とか、「英語ができなければ将来大変よ〜」とか、「世界中にお友達ができて楽しいわよ〜」なんていう言葉より、「みんなやっているわよ〜」という言葉の方が、親も子どももなんだか安心して行動できるような気がします（こんな事を書く、立派な教育者の方々からお叱りをうけそうですが・・・）。

私事で恐縮ですが、我が家の中1になる長男は、今年より学校に通うのではなく、基本家庭で学習するホームスクーリングという選択をしました。私達親も10年ほど考え抜いた事で、全力で息子をサポートしてあげたいとは思っているのですが、みんなと違う選択をしている、という事実にな不安になってしまう事もあります。よし悪しに関わらず、日本人の私にとって「みんなと一緒に」は安心感を得られるものだなと実感しています。一方、アメリカ人の夫にとって「みんなと一緒に」は危険な場合が多いという認識のようです。真理は常に「狭き門」にある、という強い信念には感心させられますが・・・

「英語はみんなやっているわよ」というのはけっして脅しでも（？）嘘でもなく、「英語がしゃべれて当たり前」な地域は日本でもたくさんあります。東京に住んでいる知人のご近所さんは、帰国子女やインターに通っているお子さんが多く、英語と日本語がしゃべれて当然の雰囲気の中で生活しているようです。当校でも「英語で多読クラブ」というクラスがありますが、英語での質疑応答やプレゼンなどが活発に行わ

れていますし、去年のクリスマスパーティーでは、生徒さん数名に詩の暗唱を皆の前で発表してもらったのですが、それを見て英語が勉強したい、と思ったお子さんも何人かいらっしゃいます。「自分と同世代の子が英語で楽しそうに話している」というのを目の当たりにすればカルチャーショックを受けますと思ひますし、「え〜〜すごい！」という感覚が、英語を勉強したいという動機に繋がっていくケースも珍しくありません。

やる気スイッチの入れ方というのは英語だけでなく学習において永遠のテーマです。自ら夢を持ち自発的に学んでくれるようになるのが理想だというのはわかっていますが、それは現実的にはなかなか難しいこと。英語を始めるきっかけとして、「みんなやっている」というメッセージで動機付けをしてあげて、「英語って面白い」と子供が感じるように軌道修正をしていくのも悪くないようにも思います。また、英語が身に付くためには継続するしかありませんが、継続するには親御さんのサポートは必須です。親御さんのモチベーションを保つためにも「みんなやっている」環境を意識的に見たり聞いたりするのもよいかもしれません。

世界で活躍！英語で国際協力！なんていう華やかな言葉より、少し肩の力をぬいて、現実的な言葉で動機を促してみるのも人によっては効果的かも？？どうせなら、ゆるやかな「同調圧力」が英語力の底上げとして機能できればよいのにな〜と、「マスク警察」などのニュースを憂いを持って眺めながら、そんな事をぼんやり考えています。



おめでとうございます！！

## 活用しましょう！ フレーズ&ワードリスト

キッズクラスの教材の1つに、フレーズ&ワードリストをお渡ししておりますが、活用されていますか？

9月に報告書をお渡ししましたが、実力が確実に伸びているお子さんの特徴の1つが、このリストにきちんと取り組めてい入るという事です。

「書く・読む」作業は反復練習が大切です。週に1度の50分授業の限られた時間内では、「聞く・話す」が中心になるので、「読む・書く」作業は家庭での反復練習が重要となってきます。

このフレーズ&ワードリストの目標は、1週間に1語、もしくは1フレーズを読める・書けるようになる事です。「読む・書く」作業は初めは大変だと思ひますが、リストにある単語やフレーズが読める・書けるようになる事で、英語の基礎力が飛躍的に伸びるし、教科書に書かれている英語が読める事で理解力が深まります。また理解力が深まると、より学習が楽しくなるし、もっと学びたい、というモチベーションへと繋がっていきます。実際、このリストに頑張って取り組んでいる生徒さんの実力は目覚ましく伸びています。

「英語の多読」はちょっと敷居が高い、と思われている方でも、1週間に1語（もしくは1フレーズ）ならなんと頑張れるのでは？？

A4用紙1枚の簡単な教材ですが、広く浅くいろんな教材に手を付けるより、この1枚の紙を徹底的に使いこなしてみてください。1年後にその成果が実感できると思ひます。

## 英検JRの日程

試験が始まったら入室できませんので、受験者は日時の確認をお願いします。

試験日	11月1日（日）
申込締切り	9月24日（木）
試験会場	南ウッディタウン駅前校
費用	英検パンフレットをご覧ください。
時間	☆ ブロンズ 10:00~10:30 ☆ シルバー 10:45~11:20 ☆ ゴールド 11:35~12:20

## 10月のスクールカレンダー

黒で塗りつぶされた箇所は休校日です。

10月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	